

平成29年度

下野市

図書館評価報告書

平成30年7月

下野市立図書館

目 次

1. はじめに	
(1) 趣 旨	1
(2) 図書館評価の対象と評価方法について.....	2
2. 総合評価（外部評価）	4
3. 図書館協議会委員による意見.....	5
4. 総評.....	7
5. 図書館協議会委員名簿.....	8
6. 図書館協議会会議の開催	8

関係資料

- ・事業評価シート

1. はじめに

(1) 趣旨

本市では、平成25年度から、民間のノウハウを図書館運営に反映するため、石橋・国分寺図書館に指定管理者制度が導入されました。平成29年度からは南河内図書館を含め市内図書館3館全てが指定管理者制度の導入となりました。図書館の市職員と指定管理者がともに「子ども・市民の豊かな心の育成と地域文化の向上を目指して」を基本理念に、地域に開かれた効率的な図書館運営に努めてきました。

また、平成24年度の公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正に伴い、県内各図書館に先駆けて平成26年度事業から図書館評価を始めました。

本年度も引き続き図書館評価を実施し、その結果をとおして今後の図書館運営の改善等に繋げ、さらなる向上を図ってまいります。

図書館評価に関する法令・基準の抜粋

◎図書館法

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

◎公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成24年12月19日文科科学省告示第172号)

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。

2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

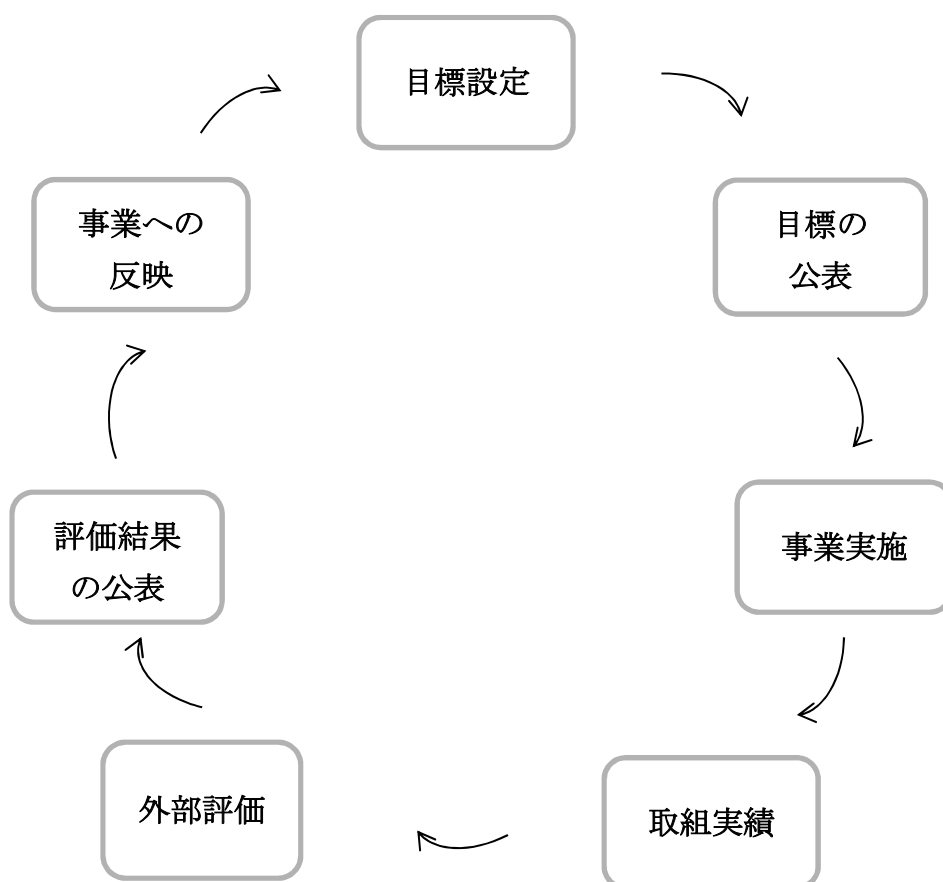
(2) 図書館評価の対象と評価方法について

下野市立図書館設置条例に規定されるすべての図書館の運営及びサービス全般を対象とし、市民の代表者である図書館協議会による外部評価を実施し、外部評価をもって総合評価といたしました。今回の評価結果に基づく課題の改善点などを所見としてまとめ、翌年度以降の事業に反映することといたしました。

評価方法については、5つの大項目と14の中項目に分類したうえで、34の小項目を定め、「中期的計画」・「単年度目標」を評価指標とし、評価してまいりました。

平成28年度より「取組結果」に応じて《評価基準》の中項目の評価基準によりA～Dを決定し各中項目の評価を決定いたしました。

図書館評価のながれ



《評価基準》

小項目

評 価	評価内容及び基準
A	計画通り事業を実施し、目標水準を超える成果がある。
B	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしている。
C	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしているが、一部に課題がある。
D	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

中項目・大項目評価（各評価の配点に乗じて採点）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。（評価点の小計が配点の 80%以上）
B	当該分野について、概ね適正である。（評価点の小計が配点の 60%以上）
C	当該分野について、改善が必要である。（評価点の小計が配点の 40%以上）
D	当該分野について、相当な改善が必要である。（評価点の小計が配点の 40%未満）

総合評価（外部評価）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

2. 総合評価（外部評価）

大項目	中項目	小項目	石橋図書館	国分寺図書館	南河内図書館
			総合評価	総合評価	総合評価
I 知 識 と 情 報 の 拠 点 図 書 館	1.市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実	1.資料の収集と保存	B	B	B
		2.市民ニーズを把握した図書の収集			
	3.サービスの提供の向上	1.インターネットによる調べ物の支援	B	B	B
		2.より容易で効率的な資料・情報の提供			
II 子 推 進 す る 読 書 活 動 を	1.学校との連携による子ども読書活動の充実	1.学校図書館支援	B	B	A
		2.小学校への読書普及活動の充実			
	2.家庭での読書活動の支援	1.親子で読書を楽しむきっかけづくり	B	B	A
2.子ども読書活動を促進する保護者対象事業					
3.図書館情報の周知					
3.子どもの読書活動推進のための読書環境等の充実	1.児童書の充実	A	B	B	
	2.小中学生向けの講座や読書案内の充実				
	3.児童書の貸出冊数、市内小学校への団体貸出冊数				
III 利 用 し や す く 役 立 つ 図 書 館	1.柔軟な運営体制の構築	1.図書館評価	B	A	A
		2.民間企業の図書館活動への参加			
	2.利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実	1.レファレンスサービス	B	B	B
		2.レファレンス受付件数			
3.相互貸借					
3.利用者の要望に応じたサービスの充実	1.図書館サービスの充実	B	B	B	
	2.所蔵資料の活用				
	3.リサイクル				
4.誰もが利用しやすい図書館サービスの提供	1.乳幼児・児童サービス	B	B	B	
	2.高齢者サービス				
	3.障がいを持っている方へのサービスを充実します				
	4.外国人の方へのサービスを充実します				
	5.市民の要望に応じた幅広いサービスを充実します				
IV 図 書 館 と 郷 土 の 歴 史 と 文 化 の 豊 か な 拠 点	1.地域情報の収集、保存、提供	1.地域資料・行政資料	B	B	B
		2.郷土資料の積極的な収集、保存、提供			
		1.郷土資料	B	B	B
		2.地域ゆかりの関係資料			
V 市 民 と と も に あ る 図 書 館	1.生涯学習の機会や交流の場の提供	1.図書館ボランティア	B	B	B
		2.レファレンス室資料の充実			
		3.開かれた図書館			
2.市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの実現	1.ボランティアの養成と支援	B	B	B	
	2.市民協働事業				
3.利用者への接遇の向上	3.職員の接遇と人材育成	B	B	B	

3. 図書館協議会委員による意見

(1) 石橋図書館

- ・グリム、ドイツが石橋地区の目玉かと思うので、その地方の資料の収集は意味がある。
- ・図書館講座やイベントの関連資料を展示することにより、多くの情報が得られ、とても参考になる。
- ・レファレンスの情報を共有することは、とても良いことだと思う。その情報をさらに活かしてほしい。
- ・「原爆展」「フォトコンテスト入賞作品」「税を考える週間」等の展示は、幅広い視点で行っており、より多くの人に関心を高めたと考える。

<課題>

- ・大松山運動公園の完成に伴い、公園利用者との駐車スペースの利用について考慮が必要である。
- ・保護者による団体貸出ができるよう読書普及の啓発に期待する。
- ・親子で楽しむきっかけづくりに、お父さんが関わりやすい日時で内容を検討してほしい。

(2) 国分寺図書館

- ・医療関連の選書を優先したこと、また、補強したことは大変良い。医療に関する資料の充実を望む。
- ・「ティーンズ読書クラブ」が子どもたちの自発的な行動により誕生し、活動しているのはすばらしい。良いサポートを期待している。
- ・以前から国分寺図書館の選書には旬を感じるスピード感があり、演出もうまい。
- ・国分寺図書館の規律をベースにした親しみやすさ、展示のメリハリ、行事の多様さはすばらしく、ファンは多いと思う。

<課題>

- ・施設としての不利を補う工夫をされているが、エレベーター設置は引き続き強く要望したい。
- ・ボランティア養成講座受講者の実践につながるような内容をお願いしたい。
- ・各種イベントや講座の多様性はさすがだが、更にPRを図ってほしい。

(3) 南河内図書館

- ・乳幼児、高齢者、障がい者、外国人、市民と広範囲に誰もが利用しやすいサービスの提供に意図的に取り組んでいることが良くわかる。
- ・市内在住の講師による講座は親しみがあり、参加者増にもつながると思う。
- ・講座により新たなボランティアが生まれたことはとてもすばらしい。スキルアップも含め、良い研修の機会をこれからもお願いしたい。
- ・本とのかかわりに発し、それ以上に「子どもと親の生活を応援」している活動を、今後も続け発展させてほしい。

<課題>

- ・今後の高齢化社会を見据えた音訳CDの利用促進のための更なるPRを望む。
- ・下野新聞の現物保存はまさに歴史上の貴重な資料となる。ぜひ現物で保存してほしい。またとない郷土資料だ。
- ・学校との連携による太いパイプができていることを活かし、今後はさらに子ども達が図書館に来てくれるような働きも、より充実させてほしい。

(4) 全図書館

<課題>

- ・パソコンやインターネットの活用も良いが、図書資料での対応にも邁進されたい。
- ・ツイッターの発信について図書館のホームページからのリンクが見つけれなかった。せっかく発信しているので、分かりやすくしてほしい。
- ・雑誌スポンサー制度について、努力されても雑誌スポンサーがつかないのは残念だが、引き続き募集してほしい。
- ・図書館ならではのレファレンスサービスを知らない方もいるので、もっとPRする工夫が必要なのではないか。
- ・学校との連携による子どもの読書活動の充実を図るため、学校図書館支援のための児童書の図書購入費の増額を要望したい。

4. 総評

図書館協議会の総合評価（外部評価）において、各図書館とも概ね適正に運営がされていると評価します。

図書館システムの更新に伴うホームページのリニューアルにより、ホームページへの訪問者数や、インターネット予約数が増えたことは、従来のシステムからの改善の成果が見られました。またスマートフォンで蔵書検索や図書館のイベントを調べられることは、若者だけではなく各年齢層にとっても利便性があると考えられるので、今後もインターネットによる効率的な資料の活用や情報提供により充実したサービスを望みます。

ヤングアダルト向け小冊子(10代に贈る本)を3館のボランティアと協同で作成し、市内中学校だけでなく近隣の高校へも配布したことは、とても良い取り組みでありました。

しかしながら今後は、図書館に足を運ばない人にも、図書館のメリットがわかるように広報活動に力を注ぐよう希望します。

平成29年度から市立図書館3館全てが指定管理者による運営となったことから、民間ならではのノウハウを活かした各種講座・事業の開催や、各館の特色を活かした資料の管理、レファレンス等のカウンター業務のサービスを充実させ、利用者の増加を図るとともに、より市民に身近な図書館となるよう期待します。

5. 図書館協議会委員名簿

氏 名	所 属 等	備考
有野 一夫	学識経験者	
青木 ムツミ	学識経験者	
平出 文子	学識経験者	
晴山 育子	石橋図書館ボランティア	
下山 千恵子	国分寺図書館ボランティア	
城鳥 律子	南河内図書館ボランティア	
高木 智子	公募委員	
田中 志保	公募委員	
倉井 典子	国分寺小学校長	
坂口 修	石橋中学校長	

6. 図書館協議会会議の開催

図書館協議会は、図書館法第14条及び下野市立図書館設置条例に基づき設置されています。図書館評価については次のとおり開催いたしました。

開 催 日	会 議 内 容
平成30年 5月 2日 (水)	取組実績のプレゼンテーション
平成30年 5月 29日 (火)	外部評価実施について
平成30年 6月 26日 (火)	外部評価実施について
平成30年 7月 31日 (火)	評価結果報告・公表について

関係資料

- ・事業評価シート

平成29年度事業評価シート(様式1)

石橋図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価
I 知識と情報の拠点としての図書館							
1 市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実							
1 資料の収集と保存		ア) 市立図書館資料のバランスを考慮した、市民に役立つ資料の充実を図ります	石橋図書館の特色であるグリムや郷土資料の収集に努めます	数値	寄贈資料を含め郷土資料109点、グリム・ドイツに関する資料も収集いたしました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市の資料の充実、また郷土資料、特色ある図書館を。 ・資料収集は大切な役目だと思う。更なる努力を望む。 ・グリム関連の資料等に力を入れても良いのでは。 ・グリム、ドイツが石橋地区の目玉かと思うので、その地方の収集は意味がある。 ・郷土資料109点は素晴らしい。 ・特色ある収集資料の活かし方やPR方法などについては、どのようになっているのか。特にグリム関連ならグリムの館などとの関係を密にするなどしているのかと思ったが良く分からない。関係の構築やPRを発展させてほしい。 ・各館特色ある資料の収集の充実は今後も、更に邁進してほしい。 ・ドイツとの姉妹都市がキーポイントになる。
		イ) 参考資料を含む幅広い資料収集と、長期にわたる資料保存を行います	利用者へのレファレンスに対応できるよう収集に努めるとともに県立図書館との協定による永年保存雑誌14点を継続して保存してまいります	数値	参考資料は寄贈資料を含め37点収集いたしました。		
2 市民ニーズを把握した図書の収集		市民の要望にかなう図書を収集するための市民ニーズの把握を行います	予約やリクエスト、アンケートの結果を考慮し市民への資料提供に努めます	記述	10月28日～11月9日までアンケート実施を行い、雑誌購入アンケートの結果をもとに次年度の雑誌購入を見直しました。		
取組実績		寄贈を含め郷土資料を109点収集し利用者へのレファレンスに対応できるようつとめてまいりました。					
3 サービスの提供の向上							
1 インターネットによる調べ物の支援		利用者用パソコンを活用した、インターネットによる調べ物の支援を推進します	利用者用パソコンを周知し利用促進に努めるとともにパソコンと図書資料を活用したレファレンスサービスに努めます	数値	平成28年度のパソコン利用数662件、平成29年度のパソコン利用数569件となりました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホで調べられることは若者にとって利便性があると思う。今後もより充実したサービスを。 ・新技術、機器等を取り入れデータベースの導入ができ、便利になったことはベター。前向きで利用者が利便を図れるように。 ・インターネットの活用も良いが図書資料での調べ方にも支援されるよう希望する。
2 より容易で効率的な資料・情報の提供		デジタル図書やパソコンの活用など新しい技術・機器等を取り入れ、容易で効果的に資料・情報を利用できるようにします	自宅でも容易に閲覧できる電子図書館導入について市に提案してまいります	記述	電子図書館の導入の提案はできませんでしたが、下野新聞データベースの閲覧ができるよう提案し、4月1日から導入予定となりました。		
取組実績		今まで、下野新聞のデータベースは各館で保管している本紙(1年保管)または国分寺図書館のみで閲覧できるDVD-ROMでしたが、利便性を考え各館のパソコンで閲覧できるデータベースの導入を提案し、平成30年4月1日から導入が決まりました。					

石橋図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
II 子どもの読書活動を推進する図書館								
1 学校との連携による子ども読書活動の充実								
	1	学校図書館支援	学校図書館支援のために、定期的な訪問を行います	学校への団体貸出の配送で定期的に訪問いたします	数値	昨年同様、石橋小・古山小・石橋北小へ年4回の定期配送を行いました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への定期的な貸出し。本を読むことの楽しさを知るためにも継続的にお願いしたい。 ・学校図書館と密に関わりを持ち、学校図書館の支援を。できれば、貸出し回数の増加を。 ・団体貸出しシステムは、子ども達がより多くの本に触れられ、大変ありがたい。 ・多忙の中、各小学校への団体貸出の配送は大変だと感じている。 ・保護者等による貸出ができるよう読書普及の啓発も期待する。 ・北小はお母さん達が読み聞かせをしている。 ・北小は生活圏が雀宮に近いので図書館カードを持たない子が多い。
	2	小学校への読書普及活動の充実	ア)小学校への団体貸出しにより、身近に本のある環境を作ります	学校への団体貸出しを行い、子どもの読書環境づくりを支援します	記述	石橋小・古山小・石橋北小への配送で団体貸出しを行いました。		
			イ)図書館ボランティアによる小学校での読み聞かせなど、読書普及活動の充実を図ります	図書館ボランティアを小学校の読み聞かせに派遣いたします	数値	石橋小学校へは毎月水曜日に、古山小へは読書週間に合わせて読み聞かせを4日間行っていました。		
取組実績			平成29年度から細谷小学校と石橋北小学校の団体貸出を保護者や支援員に来館していただけることになり、子どもの読書環境づくりを支援しております。					
2 家庭での読書活動の支援								
	1	親子で読書を楽しむきっかけづくり	おはなし会の開催など、親子で読書を楽しむきっかけづくりを行います	おはなし会を開催し読書のきっかけづくりに努めます	数値	平成29年度のおはなし会は24回、ちいさなおはなし会は12回行いました	B	<ul style="list-style-type: none"> ・3館合同企画は素晴らしいと思う。他の図書館でも同様の企画を。 ・親子で読書を楽しむきっかけ作りは、将来、本好きの子どもが増えるきっかけ。やはり小さい頃から本を読んであげていると大きくなって本を読む習慣が付いている。 ・まず、家庭での読書から始まり継続を。 ・おはなし会は読書好きになるきっかけになる。 ・親子で楽しむ...にお父さんが関わりやすい日時や内容を検討してほしい。 ・お父さん、祖父母の参加も期待している。
	2	子ども読書活動を促進する保護者対象事業	保護者を対象に子どもの読書活動を推進する講演会等を実施します	家庭での読書推進を図るため講座を3館で企画します	記述	3館合同企画として紙芝居講座を国分寺図書館で行いました		
	3	図書館情報の周知	家庭での読書活動を支援するため、保育園等を通した図書館情報の周知を図ります	図書館だよりを石橋地区の保育園等に配布し情報の周知を行います	記述	図書館だよりの簡易版を幼稚園・保育園等に毎月配布し、情報の周知を図りました。		
取組実績			おはなし会では石橋おはなし会の皆さんに子どもまつり特別おはなし会やクリスマス会で協力していただき、親子で本に親しむきっかけづくりを行いました					
3 子どもの読書活動推進のための読書環境等の充実								
	1	児童書の充実	『子どもの読書活動推進計画』に基づき、資料の充実を図ります	ニーズに合った資料を充実させるため、常時リクエストを受け付けます	記述	リクエストのほか、学校支援に役立つ調べ学習の資料を収集いたしました。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・YA小冊子の作成は、とても良い取りぐみだと思ふ。 ・図書館の理解、興味、関心を持ってくれるので評価するが、体験のみで終わらないよう指導をして欲しい。 ・講座、読書案内を隣の高校への配布はベター。高校生の参加を期待する。 ・調べ学習の資料は、学校の要望も取り入れてくれると更に良い。 ・図書館員が子ども達との読書に積極的に係わる取り組みが、今後充実することを期待している。 ・本を通して社会との関わりなど生きる力を育むきっかけになるような展示や講座等があっても良いのではないかな。 ・おすすめ図書ガイドが有効利用されることを望む。 ・石橋はYA本が多く展示も大きい。YA小冊子でのPRIは機会の一つだ。しかし万が一それでもニーズが小さければ今後縮小方向の検討も必要かもしれない。現在の若者の実態を考えるとYAの必要性には限界があるのではないかな。 ・司書体験から子ども達自身が薦めたい本、中学生、高校生の薦める本にも興味がある。
	2	小中学生向けの講座や読書案内の充実	ア)小・中学生の司書体験を通して、図書館への関心を深めています	図書館の関心を深めるため、3館合同事業である「子ども司書」を行います	記述	市職員と協力し、「子ども司書体験講座」を行い、図書館をより身近に感じていただくことができました。		
			イ)子ども向けの講座や読書案内等の充実を図ります	子供向けの読書案内の充実のため、おすすめ図書ガイドを作成いたします	記述	ボランティアの皆さまにご協力いただき市職員指導のもとYA小冊子を作成し、市内中学校や石橋高校・上三川高校へ配布いたしました。		
		児童書の貸出冊数、市内3小学校への団体貸出冊数	全館 平成26年度 → 平成32年度 児童書... 142,283冊 → 150,000冊 団体... 23,790冊 → 30,000冊	各館 平成28年度 → 平成29年度 児童書... 45,781冊 → 47,000冊 団体... 947冊 → 1,000冊	数値	児童書...53,562冊 団体...2,681冊		
取組実績			YA小冊子は市内中学校や石橋高校だけでなく、近隣の三川高校にも配布をし、読書案内の充実をはかりました。平成29年度から細谷小学校と石橋北小学校の団体貸出を始めることができました。					

石橋図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標)		外部評価 単年度目標評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
				29年度	指標		
III 利用しやすく役立つ図書館							
1 柔軟な運営体制の構築							
		1 図書館評価	図書館評価による運営のさらなる改善を図ります	図書館の内部評価や外部評価を基に基幹職員と協議し改善いたします	記述	雑誌購入リストや図書館の基本となる分類についてご意見をいただき、館内に掲示しました。	B ・改善したことは評価。 ・努力されてもスポンサーが付かないのは残念だが継続してほしい。 ・一覧作りは、その図書館へ行かずに調べられるのでありがたい。 ・スポンサーになったときの利点等のPRはどのようなのか。HPIに載せる等も検討されてはかがか。 ・スポンサー募集はなかなか困難だが引き続き募集してほしい。 ・雑誌スポンサーとなるとイコールお金を想像するが、お金のかからないコマース。子どもが親の仕事を宣伝する。お客が薦める... からきっかけ作りはかがか。
		2 民間企業の図書館活動への参加	雑誌スポンサー制度など、民間企業の図書館活動への参加を促進します	雑誌スポンサー制度でのオーナー募集を継続いたします	記述	継続して募集をしておりますが、スポンサーがつきませんでした。	
		取組実績 各館で購入している雑誌一覧を掲示することで、どの館に何を所蔵しているか利用者に分かるようにいたしました。					
2 利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実							
		1 レファレンスサービス	ア)市と他の行政機関との連携によるレファレンスサービス等、適切な資料提供を行います イ)蔵書の充実と、インターネットを活用したレファレンスサービス網の構築を図ります	市内施設の情報を提供できるような基幹職員を通じ、パンフレットを収集いたします レファレンスに対応できる蔵書の充実をはかるため、レファレンスの記録をいたします	記述 記述	下野市商工会「しもつけ街グルメ」、「しもサタチャンネル」、「しもつけしてる？」などのパンフレットを収集いたしました。 スタッフ全員に周知するようレファレンス記録帳を作成し、情報共有をしております。	B ・情報共有することは、とても良いことだと思う。その情報をさらに活かしてほしいと思う。 ・広範囲の資料を求む。 ・努力を評価する。 ・利用者促進は評価する。 ・相互貸借は評価する。リクエスト本の早い入手を望む。 ・利用者のリクエストに対応するための相互貸借がすばらしい。 ・図書館司書ならではのレファレンスサービスを知ってもらい利用していただく方法を考えていただければと思う。 ・図書資料の情報も構築してほしい。 ・利用者がレファレンスの解決に辿りつけることは図書館に来る励みにもなる。 ・市内出身の芸人も紹介してほしい。
		2 レファレンス受付件数	全館 平成26年度 - 平成32年度 5,929件 - 6,600件	各館 平成28年度 - 平成29年度 2,111件 - 2,140件	数値	平成28年度 2,111件に対し今年度は1,610件でした。クイックレファレンスが少なくなり、利用者自身が調べたい資料にたどり着くことができていると推測されます。	
		3 相互貸借	県内図書館との相互貸借により、リクエストに応えます	リクエストに対応するため相互貸借を利用いたします	数値	平成29年度の相互貸借借受数は460点でした。(平成28年度493点)	
		取組実績 「図書館に聞けばわかる」を目標に、レファレンス資料はもちろん、レフェラルサービスにも重点を置き、各種パンフレットを収集することで対応できるようにしております。					
3 利用者の要望に応じたサービスの充実							
		1 図書館サービスの充実	本と気軽に親しめる図書館サービスの充実を図ります	図書館の自主事業に関連した資料を展示し、本に親しめるようにいたします	記述	下野学教養講座や著者を困む会、調べる学習ロケット教室など、事業に関連した資料を展示することで気軽に本に親しむきっかけづくりをいたしました。	B ・季節に合わせた展示は、子ども達も興味を持つと思う。 ・タイムリーな企画をお願いしたい。 ・関連資料を展示することにより多くの情報が得られ、とても参考になる。 ・リサイクル本は、おおいに市民に還元してほしい。 ・スポーツ(登山、水泳等)のお薦め本もお願いしたい。
		2 所蔵資料の活用	おすすめ本の展示コーナーなど所蔵資料の活用を行います	季節や時事の展示を行う事で所蔵資料の活用に努めます	記述	特に児童書については季節にあわせ七夕やクリスマス、一般向けは梅雨の時期の掃除などの展示をおこないました。	
		3 リサイクル	リサイクルフェアを開催し、図書館資料の有効活用を図ります	除籍資料を対象としたリサイクルフェアを実施いたします	数値	8月には書籍、10月は雑誌のリサイクル市を行いました。書籍は3486点のうち残り529点、雑誌は915点のうち残り9点の提供数でした。	
		取組実績 書庫にある資料も展示することで図書館資料の有効活用を、また、絵画資料の活用促進する記事を平成30年1月14日の読売新聞に掲載しており、新聞をご覧になった方が市内外を問わず来館いたしました。					

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標)		外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
				29年度	指標		
Ⅲ	4	誰もが利用しやすい図書館サービスの提供					
		1 乳幼児・児童サービス	乳幼児・児童サービスを充実します	ボランティアと協働で乳幼児や児童を対象としたおはなし会を開催いたします	数値	石橋おはなし会にご協力いただき、年間36回開催いたしました。	B ・ボランティアと協働で行う事業、今後も継続してお願いしたい。 ・高齢化社会に伴い、障がい者のみならず、一般の方にもPRしてほしい。 ・対象が様々なため大変かと思うが一層の充実を。 ・利用者のそれぞれの立場での悩み解消に努めているサービスを評価。 ・乳幼児や児童が図書館への関心や興味を持つためにその保護者への啓発も大切だと思う。 ・高齢者社会において、高齢者の利用促進にも力を注いでほしい。 ・赤ちゃんは母親が連れてくるが高齢者や障がい者は図書館に行くことも出来ない状況である。大活字資料やCDを知らない人もいないのではないかと。
		2 高齢者サービス	高齢者サービスを充実します	大活字資料の充実を図ります	数値	大活字資料を3点収集いたしました。	
		3 障がい者サービス	障がいを持っている方へのサービスを充実します	読むことが難しい方に対し朗読CDの充実を図ります	数値	朗読CDを3点、聴覚障害者用DVDを6点収集いたしました。	
		4 外国人へのサービス	外国人の方へのサービスを充実します	外国の方が来館した際に対応できるよう英語の利用案内を作成いたします	記述	利用はありませんが、英語の利用案内を作成しており、いつ利用があっても良いように準備しております。	
		5 市民サービス	市民の要望に応じた幅広いサービスを充実します	市民の要望を聞くため、アンケートを実施いたします	記述	3館合同で11月にアンケートを行い、回収率98%でした。	
		取組実績	大活字資料、朗読CDは通常の資料に比べ利用が少ないですが、色々な方にサービスできるよう市と協議し、今年度は視聴覚障害者用DVDを重点に収集してまいりました。				

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	
							単年度目標評価	外部評価 (図書館協会のコメント)
IV 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館								
1 地域情報の収集、保存、提供								
		1 地域資料・行政資料	ア)市広報誌など地域情報の収集、保存、提供をします	市の広報誌や議会だよりを収集し保存いたします	記述	広報誌や議会だよりを収集し、冊子として保存しております。配布終了後も広報誌の問い合わせがあるため、活用しております。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・広報しもつけは、市のホームページに過年度のものがある。その点も周知してはいかがか。 ・行政の資料が身近にあるのは便利。 ・市の行政について図書館で幅広く情報収集できることは、ありがたい。 ・さらに図書館が地域の拠点となるよう、地域活性の資料を示すのも良い。 ・行政資料は、行政職員と話し合いながら、収集、保存してほしい。
			イ)市議会の議事録や市の予算書・決算書など行政資料を保存します	市の予算書や決算書などの行政資料の収集に努めます	記述	予算書や決算書の行政資料を市の担当課からいただき保存しております。		
取組実績			広報誌や議会だよりのほか、予算書、決算書をいただき保管しております。					
2 郷土資料の積極的な収集、保存、提供								
		1 郷土資料	郷土資料の収集・提供を図り、地域学習活動の支援をします	下野学講座を開催し、郷土についての学習の場を設けます	数値	下野学講座「歴史講座」では文化財課に下谷田遺跡についての講義を依頼、開催し郷土についての学習の場を設けました。参加者は29名。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の歴史講座開催は望ましいが折角の講座、参加者増加を望む。 ・学校でも「ふるさと学習」が重点となっているので、子ども向け資料も置いてほしい。 ・郷土資料の収集、充実に努力してほしい。 ・町内で見山城址守り隊ボランティアの方達が整備事業を始めている。 ・他県から来た人は「かんびょう簡単レシピ」等を参考に本県の料理集等も望む。
		2 地域ゆかりの関係資料	地域刊行資料、地域ゆかりの関係資料を積極的に収集し、保存・提供します	市担当課を通じて地域刊行資料の収集に努めます	記述	しもつけ・未来プロモーション事業で作成されたDVD「サクラノチカイ」の収集や「かんびょう簡単レシピ」等の収集をいたしました。		
取組実績			歴史講座では現地説明会が同年に行われたこともあり多数の方にご参加いただきました。郷土の歴史を知るきっかけ、また、知識をより深める機会となりました。					

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標)		外部評価	単年度目標の取組結果
				29年度	指標		
V 市民とともにある図書館							
1 生涯学習の機会や交流の場の提供							
	1	図書館ボランティア	図書館ボランティアに関する交流会や講座を開催します	基幹職員と協力しボランティア交流会を開催いたします	記述	3/6(火)にボランティア交流会を基幹職員と協力して行いました。	B ・展示などの企画、とても良いと思う。 ・今回の交流会は良かったとの声があったが、毎回、同じような内容になるので、違う形の交流会を考えてはどうか。 ・企画展はベター。折あることにしてほしい。 ・幅広い視点で展示を行い、より多くの人の関心を高めたと考える。 ・展示を拝見しておらず大変失礼だが、それぞれの展示の機会に図書館につなげる工夫がなされていることを期待している。 ・展示室の有効活用、良いと思う。 ・市民の発表の場としても、多いに活用されることを期待する。
	2	レファレンス室資料の充実	レファレンス室の資料を充実し、市民の学習活動を支援します	レファレンス室の資料の充実を図るため、参考資料の収集に努めます	記述	参考資料を37点収集いたしました。	
	3	開かれた図書館	市民の交流の場・発表の場として開かれた図書館づくりを行います	原爆展やフォトコンテスト入賞作品の展示を行います	記述	原爆展を8月に、フォトコンテストは10月から11月まで行いました。また、栃木税務署から「税を考える週間」パネル展示の依頼があり、市内在学生の作文を展示しました。	
		取組実績		ボランティア交流会では今まで石橋館で収集していた音訳の広報誌等を国分寺館も収集できるようにいたしました。			
2 市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの実現							
	1	ボランティアの養成と支援	図書館ボランティアの養成と支援を行います	各館で行われる養成講座や県で行われる講座をボランティアに周知いたします	記述	市内図書館で行われる紙芝居講座や読み聞かせ講座のほか、県で行っている研修についてお知らせいたしました。	B ・原爆のみならず、良いことの継続を。 ・社会の記憶装置としてとても重要な展示だ。今後もぜひ続けて欲しい。また同様な展示がさらに行われることを強く要望する。 他の機関で行っている事業に対しての情報提供は今後も続行してほしい。
	2	市民協働事業	市民との協働による図書館事業の充実を図ります	市民団体と協力して図書館の自主事業の充実を図ります	記述	毎年行っている「原爆パネル展」を今年度も開催しました。展示方法を変えたところメッセージカードの記入が6枚ありました。	
		取組実績		原爆パネル展は毎年行っておりますが、今年度は会員の方のご協力で上映会を開催しました。			
3 利用者への接遇の向上							
	1	職員の接遇と人材育成	図書館業務マニュアルによる接遇研修の充実と人材育成を図ります	県立図書館で行われる研修に参加しスタッフのスキルアップを目指します	記述	7/25子どもの読書推進フォーラム、2/22児童サービス研修のほか1/26にパスファインダー研修を受けました。	B ・今後も研修の成果を来館者に役立てて欲しい。 ・更なる資質の向上を。 ・対応は図書館の鏡。明るく、利用されるような館を望む。 ・職員の方々のスキルアップは大変良いことだ。
		取組実績		研修報告書を作成し、スタッフ全員に内容を周知するとともに月1回行っているミーティングで改めて全スタッフに報告をし周知をはかりました。			

総 評 (石橋図書館)

【所見等】

- ・大松山運動公園の完成に伴い、公園利用者との駐車スペースの利用について考慮が必要と考えられる。
- ・職員の方々が、とても良く頑張っていると感じている。
- ・緑豊かな環境で読書には最高の場所なので、静かな雰囲気緑を眼前にして落ち着いて読書ができる図書館としてアピールしては。
- ・事業、行事等を新聞に掲載して幅広い活動が出来ていることは、とても良いと思う。
- ・前年度より利用者サービス、企画向上への努力が見受けられる。
- ・各項目での努力の成果が、うかがえる。
- ・おおむね適正に運営されている。
- ・YA、視聴覚障がい者用DVD、点字情報などのニーズ掘り起こしに、直接、関係機関にPRするなど、苦心している様子が理解できた。しかし元来ニーズのないものは努力しても限界があるのではと感じる。柔軟に対応できる力の必要性を図書館関係者(立案サイド、協議会委員を含む)に感じた。
- ・案が実態にそぐわなければ、そのまま、報告し、修正できる雰囲気が必要だ。柔軟性のなさは施設運営の硬直化につながる恐れがある。平成30年度単年度目標を作成するうえで考慮いただきたい。
- ・身近な図書館として利用している。運動公園の中で立地条件は良く、整備も整っている
- ・受付職員の対応は良い。
- ・タイムリーな(追悼、生誕〇〇年)本の紹介が良い。
- ・図書館に行きたくても行けない人達(足が不自由など)にどうやったら本の良さを分かっていただけなのか。
- ・高齢者はの人達はお話を聞くことは大好きなので、出前をすれば良いのではないか。(栄町サロンなど)
- ・市民のかたは色々な所で活動されているが、横のつながりが無いように思える。赤ちゃんとお年寄りが一緒に集まって本に親しむ、図書館がそんな場になってほしい。

(3館共通)

- ・各種講座の開催は良いが、内容を工夫し、講座への参加者増を期待。
- ・リサイクルは、年々好評。

平成29年度事業評価シート(様式1)

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
I 知識と情報の拠点としての図書館								
1 市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実								
		1 資料の収集と保存	ア) 市立図書館資料のバランスを考慮した、市民に役立つ資料の充実を図ります イ) 参考資料を含む幅広い資料収集と、長期にわたる資料保存を行います	医療関連の重点選書を継続する他、関連する情報ガイド等を参考に、適及的な選書を行い、抜きの無い棚揃えに努めます。 最新の図書館関連情報、研修資料などを基に必要図書をチェックし、計画的・効果的に取書致します。	記述	医療関連の重点選書を継続した他、辞典・事典類を中心に補強を行いました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の特色の一つとして、とても良いことだと思う。 ・医療機関の選書を継続したこと、また、補強したことは大変良いと思う。医療に関する資料の充実を望む。 ・リクエスト及び新聞等での話題図書等の購入は、ありがたい。 ・アンケートやリクエストを基に選書をしたことを評価。 ・図書館としての資料収集方針と利用者からの要望、双方を考慮したバランスの良い収集をこれからも続けて欲しい。 ・各館特色のある資料収集の充実は今後も邁進してほしい。 ・以前から図書館の選書には句を感じるスピード感があり、演出も上手い。
		2 市民ニーズを把握した図書の収集	市民の要望にかなう図書を収集するための市民ニーズの把握を行います	アンケートやリクエスト傾向の分析を継続します。	記述	アンケートは10、11月に実施致しました。リクエストはやはり話題書が中心なので、新聞書評やランキングをより意識した選書に心掛けました。		
取組実績		調べもの支援となる辞典・事典類を多めに選書致しました。						
3 サービスの提供の向上								
		1 インターネットによる調べ物の支援	利用者用パソコンを活用した、インターネットによる調べ物の支援を推進します	国立国会図書館のサイトなど、調べものに寄与するリンクメニューの構築を模索します。	記述	まずは職員向けに国立国会図書館の「リサーチ・ナビ」「レファレンス協同データベース」他、調べものに寄与するサイトのリンクメニューを作成しました。今後は研修等によりメニュー活用の促進を図ります。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報発信をすることは色々な年齢層に対してのニーズに答えることにつながると思う。 ・Twitterの発信はありがたい。 ・Twitterの発信について図書館のHPからのリンクが見つけられなかった。せっかく発信しているので分かりやすくしてほしい。 ・パソコンやインターネットを活用できる住民ばかりはいない。図書資料での対応にも邁進されたい。
		2 より容易で効率的な資料・情報の提供	デジタル図書やパソコンの活用など新しい技術・機器等を取り入れ、容易で効果的に資料・情報を利用できるようにします	情報提供の在り方について三館で検討し、技術・機器などを用いた情報提供のPRをいたします	記述	Twitterのアカウントを取得、発信をスタートさせました。		
取組実績		インターネット上の、調べものに寄与するサイトの活用に着手し、Twitterを開始致しました。						

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
II 子どもの読書活動を推進する図書館								
1 学校との連携による子ども読書活動の充実								
	1	学校図書館支援	学校図書館支援のために、定期的な訪問を行います	引き続き資料の提供・配送による学校訪問を通しての情報交換、業務責任者によるサポートを継続します。	記述	国分寺管内3小学校に年9～10回の貸出と、訪問都度の情報交換を行いました。不定期ですが、業務責任者によるサポートも行いました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との情報交換は、とても良いことだと思う。継続を。 ・小学校への団体貸出により小学校の児童の読書への普及になると思うが、国分寺小へも同様に読書普及へ。 ・各小学校へのボランティアによる読み聞かせは大切なことなので、継続してほしい。 ・団体貸出システムは子ども達がより多くの本に触れられ、大変ありがたい。 ・保護者や関係ある人々も徐々に参加できると良いと思う。
	2	小学校への読書普及活動の充実	ア)小学校への団体貸出により、身近に本のある環境を作ります	引き続き受入側の要望を取り入れ、適切な貸出数で実施します。	記述	国分寺東小では必読図書をサポートを、国分寺西小では読み物系の重点選書を継続致しました。		
			イ)図書館ボランティアによる小学校での読み聞かせなど、読書普及活動の充実を図ります	各ボランティアによる定期的な読み聞かせを継続します。	記述	各ボランティアによる定期的な読み聞かせを継続致しました。		
取組実績			団体貸出や、訪問を通じての情報交換、サポート、アドバイスを行いました。					
2 家庭での読書活動の支援								
	1	親子で読書を楽しむきっかけづくり	おはなし会の開催など、親子で読書を楽しむきっかけづくりを行います	おはなし会の他、各イベントでも本の詰め合わせを用意し、家庭での読書に繋げる仕掛けを企画していきます。	記述	おはなし会の他、工作会や、新春のお楽しみ袋でも本の詰め合わせを実施致しました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できる企画はとても良いと思う。 ・各イベントで図書館に親子で参加することは、読書に関心を持ち、本好きの子どもになるうえで、とても大切なこと。 ・おはなし会や詰め合わせでのきっかけ作りの工夫がみられる。 ・親子が母子ばかりにならないような工夫(開催日、内容など)をお願いしたい。 ・「かわら版」などによる情報の提供は大変良いことと思う。
	2	子ども読書活動を促進する保護者対象事業	保護者を対象に子どもの読書活動を推進する講演会等を実施します	「親子で読み聞かせ講座」の広報面を改善し、今年度も実施します。	記述	「読み聞かせボランティア養成講座」を親子でも参加できる内容に改めて実施致しました。		
	3	図書館情報の周知	家庭での読書活動を支援するため、保育園等を通した図書館情報の周知を図ります	毎月情報誌を発行し、配布いたします。	記述	「かわら版」として、幼稚園・保育園等に情報誌を発行、配布致しました。		
取組実績			本の詰め合わせを各イベントに広く活用したほか、情報誌を提供しました。					
3 子どもの読書活動推進のための読書環境等の充実								
	1	児童書の充実	『子どもの読書活動推進計画』に基づき、資料の充実を図ります	引き続き課題図書、優良図書の積極的な収集に努めます。	記述	夏休み、冬休みの課題図書、推薦図書を収集、提供致しました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読むことが好きな子どもを育てるためにも、学校への貸出は有効である。 ・図書館体験を少人数で行うことにより、図書に関心を持ち読書につながると思う。継続を。 ・市内小学校への貸出は大幅に伸びている。更なる努力を。 ・図書館員が子ども達の読書により積極的にかかわるような取り組みが今後充実していくことを期待している。 ・子ども達に「生きる力、方法」を伝えるような展示、講座もあると良いと思う。
	2	小中学生向けの講座や読書案内の充実	ア)小・中学生の司書体験を通して、図書館への関心を深めていきます	図書館探検や子ども司書体験を引き続き実施致します。	記述	図書館探検や子ども司書体験を引き続き実施致しました。		
			イ)子ども向けの講座や読書案内等の充実を図ります	おすすめ図書ガイドを継続して制作いたします。	記述	今年度はYA向けのおすすめ冊子を作成しました。		
	3	児童書の貸出冊数、市内小学校への団体貸出冊数	全館 平成26年度 → 平成32年度 児童書... 142,283冊 → 150,000冊 団体... 23,790冊 → 30,000冊	各館 受入側と協議しながら、団体貸出冊数を決定し、提供いたします 児童書 59,671冊 → 60,000冊 団体 2,704冊 → 2,750冊	数値	平成29年度 児童書... 58,742冊 団体(小学校)... 3,860冊		
取組実績			課題図書等の資料、司書体験のようなイベント、図書ガイドの作成を通じて読書環境の充実に努めました。小学校への団体貸出は大幅に伸長しました(主に国分寺東小)。					

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
Ⅲ	利用しやすく役立つ図書館							
1 柔軟な運営体制の構築								
	1	図書館評価	図書館評価による運営のさらなる改善を図ります	評価を受けた部分について協議し、改善に努めます。	記述	エレベーター無の環境の中、1階玄関ロビーにあった情報コーナーの大部分を2階に移動、スペースを確保し、カウンター前のピックアップコーナーも継続、より多くの一般書を1階で展示できるようにし、1階だけでもそれなりにお楽しみいただけるように努めました。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・とても良いことだと思う。利用者が興味を持てるよう今後も工夫をお願いする。 ・不自由な環境のなか、工夫や努力が感じられる。 ・工夫して1階に一般書を展示したことは、来館者に便利になったと思うが、ゆっくり閲覧するためには、やはりエレベーターが必要と思う。 ・良い企画、民間企業との図書館活動への企画は大いに実施を。 ・施設等の課題を、様々な工夫で楽しく利用できるような努力が見られる。 ・施設としての不利を補う工夫をされている。エレベーター設置は引き続き強く要望したい。 ・過重な労力は出来るだけ避けたいことだ。エレベーターの設置が難しいのであれば何か良い方法を示していただきたい。 ・ダンボールの工作「アシモ」は大きさも良くかわいらしいので今後も継続してほしい。
	2	民間企業の図書館活動への参加	雑誌スポンサー制度など、民間企業の図書館活動への参加を促進します	講座や展示での参加なども含め、民間企業や地域店に提案いたします。	記述	県内企業「ホンダドリームハンズ」様との連携で人気の工作会は、例年すぐに定員に達してしまうため、今回は1月と3月の2回実施致しました。		
		取組実績		エレベーター無、駐車場不足といったハード面を補うべく、展示の工夫やイベントスケジュールの調整を行うなど、最小限のマイナスにとどめるよう努めました。				
2 利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実								
	1	レファレンスサービス	ア)市と他の行政機関との連携によるレファレンスサービス等、適切な資料提供を行います	行政機関と連携し、行政資料を積極的に収集、提供いたします	記述	乱雑になりがちだった情報コーナーを、移動に伴い整理整頓を実施、市や県のパンフ類をクリアファイルにまとめて分類、需要が高いものを1階、それ以外は2階、とメリハリをつけて見やすくしました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が何を必要としているのかを見極めることも必要だ。メリハリをつけることは有効だと思う。 ・利用者のリクエストに基づく相互貸借に努めていて、すばらしい。 ・クイックではないリファレンスの利用はどのくらいか。もっとPRしたほうが良いと思う。 ・決して大きくはない図書館で、他館貸出できる資料の収集はすばらしいと思う。 ・レファレンス業務は図書館の大事な仕事である。速やかに対応できるようにツールを作成することは良いことと思う。
			イ)蔵書の充実と、インターネットを活用したレファレンスサービス網の構築を図ります	レファレンスに関する記録を今後も継続し、必要とされる資料の充実を図ります	記述	クイックリファレンスの統計、リファレンス内容の記録を継続、スタッフ全員で情報共有しています。		
	2	レファレンス受付件数	全館 平成26年度 - 平成32年度 5,929件 - 6,600件	各館 平成28年 - 平成29年 2,365件 - 2,500件	数値	平成29年度のレファレンス受付件数 2,353件		
	3	相互貸借	県内図書館との相互貸借により、リクエストに応えます	リクエストに応えられるよう、相互貸借を利用し、幅広い資料の提供を行います。	数値	貸出：195冊(前年度185冊) 借受：681冊(前年度661冊)		
		取組実績		レファレンスやリクエストに積極的に取り組むことで、相互貸借の借受冊数を高い水準で維持できました。				
3 利用者の要望に応じたサービスの充実								
	1	図書館サービスの充実	本と気軽に親しめる図書館サービスの充実を図ります	季節ごと、講座ごとの関連資料を準備したり、手に取りやすい環境を整え、読書の提案をいたします。	記述	四季ごとのおすすめ、講座・イベント関連書の展示を継続した他、「おぼけ」「戦争」「阿久悠」など様々な切り口で展示を行いました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・四季ごとに変わる展示は、子ども達も興味を持つ。 ・季節ごとの展示はベターだが、展示場所等を考慮しては、 ・リサイクル本の有効活用は年々好評だ。 ・書架で眠らせている本の有効活用は良いと思う。 ・色々なテーマでの展示があったが、場所により長期の同じ展示が続き、そろそろ変わってもよいのではと思ったことも。場所を変えるなどすると、また違って新鮮に感じるかもしれないと思った。 ・除籍や廃棄処分には、充分気構えて行ってほしい。 ・小さなスペースに、旬が感じられる。 ・玄関は季節をテーマに読みたい気持ちになる展示だった。照明の暗さを工夫して明るくされていて良かった。
	2	所蔵資料の活用	おすすめ本の展示コーナーなど所蔵資料の活用を行います	関連付けを広く取れる展示テーマを設定し、閉架書庫の本も積極活用していきます。	記述	「おいしい」本関連コーナーでは、料理に関するもののみならず、幅広く「おいしい」をとらえることで、ほぼ全てのジャンルの本を紹介できました。追悼特集はまめに行い、閉架書庫の本を多く活用致しました。		
	3	リサイクル	リサイクルフェアを開催し、図書館資料の有効活用を図ります	リサイクル市を継続して実施いたします。	記述	今回は書架の大幅見直し・整理でたくさんのリサイクル図書を用意することができたため、雑誌編・図書編の2回に分けて実施しました。		
		取組実績		時宜に応じて様々な切り口で展示を行い、読書の提案ができたほか、書架の見直しを進めて見やすく、その副産物としてリサイクル図書をたくさん用意することもできました。				

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価
Ⅲ	4	誰もが利用しやすい図書館サービスの提供					
		1 乳幼児・児童サービス	乳幼児・児童サービスを充実します	サービスの周知を図り、分かりやすい資料の提供を行います。	記述	定期的に入れ替わる展示の他、乳幼児向け、ベストセラー、アニメ絵本、ディズニー関連、テレビキャラクター、点字絵本、おすすめコーナーなど多様な切り口での展示を継続致しました。	B ・多面的な社会情勢に合った取り組みを展開していることがよく分かるが一層の努力を。 ・利用者のニーズに合ったサービスが必要。さらに向上するように。 ・利用者が、より楽しくより多くの本に触れられるような努力がみられる。 ・大活字本の1階への移動にはアイデアと行動力を感じる。その意図が伝わっていないのは残念。 ・展示の工夫、レイアウトの工夫がみられた。
		2 高齢者サービス	高齢者サービスを充実します	スタッフによる認知症サポーターの受講を進めます。	記述	スタッフ全員、認知症サポーターを受講しました。 大活字本の配置を見直しました。	
		3 障がい者サービス	障がいを持っている方へのサービスを充実します	障害の種類や程度に応じたサービスを検討します	記述	エレベーター無の環境の中、より多くの一般書を1階で展示できるようにし、1階だけでもそれなりにお楽しみいただけるように努めました。	
		4 外国人へのサービス	外国人の方へのサービスを充実します	英語による利用案内や表記について三館で検討しながら、公用語による利用案内作成に取り組みます	記述	引き続き3館で検討してまいります。	
		5 市民サービス	市民の要望に応じた幅広いサービスを充実します	アンケート調査を実施して、要望を収集いたします	記述	アンケートは10、11月に実施致しました。	
取組実績		エレベーター無の環境の中、様々な展示の工夫や配置の見直し、レイアウトの変更などでカバーすべく努めました。スケジュール上の都合でなかなか組めなかった認知症サポーターも無事全員が受講することができました。					

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
IV 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館								
1 地域情報の収集、保存、提供								
		1 地域資料・行政資料	ア)市広報誌など地域情報の収集、保存、提供をします	市広報誌など地域情報の収集、保存、提供をします	記述	広報、議会だよりの他、地域での催し物のチラシ・パンフレット・ポスター、ガイド類など、幅広く収集し、展示しました。地域資料として保存もしています。	B	<ul style="list-style-type: none"> •行政の資料が保存されていることは読者にとって利便である。 •市の行政について図書館で幅広く情報収集できることはありがたい。 •さらに図書館が地域の拠点となるよう、地域活性化の資料を示すのも良い。 •三館協力しあって、より良い行政資料、地域資料を収集してほしい。
			イ)市議会の議事録や市の予算書・決算書など行政資料を保存します	市議会の議事録や市の予算書・決算書など行政資料を保存します	記述	市議会の議事録や市の予算書・決算書など行政資料の保存を継続しました。		
取組実績			引き続き市の議会・行政資料、地域情報を幅広く収集、展示致しました。					
2 郷土資料の積極的な収集、保存、提供								
		1 郷土資料	郷土資料の収集・提供を図り、地域学習活動の支援をします	郷土資料の整理を進め、より見やすい展示に努めます。	記述	書庫内の郷土資料の整理を進めました。	B	<ul style="list-style-type: none"> •郷土や地域を知ることにより郷土愛が育まれる。 •歴史講座は望ましいが参加者増に努力を。図書館のみの展示ではなく外部にも展示、または広報等に載せては、意外と知らない人が多い。 •学校でも「ふるさと学習」が重点となっているので、子ども向けの資料も置いてほしい。
		2 地域ゆかりの関係資料	地域刊行資料、地域ゆかりの関係資料を積極的に収集し、保存・提供します	通常仕入では入手できない資料の入手努力を今後も継続致します。	記述	通常の仕入ルートでは入手できない資料の入手努力を継続しました。 ※『栃木のおいしいパン屋さん』『下野薬師寺歴史漫画 下野古麻呂』『栃木・小山・下野・下都賀の昭和』『サクラノチカイ』など		
取組実績			郷土資料の整理を進め、通常以外の仕入も行いました。					

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
V 市民とともにある図書館								
1 生涯学習の機会や交流の場の提供								
		1 図書館ボランティア	図書館ボランティアに関する交流会や講座を開催します	三館でボランティア交流会を協力して行います。	記述	3月6日にボランティア交流会を行いました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・継続を望む。 ・市民が望んでいる講座を(例 文学講座) ・市民に積極的に呼びかけ活動が充実した。 ・若い世代のサークルの誕生と継続はすばらしいと思う。良いサポートを期待している。 ・「ティーンズ読書クラブ」の発展を願う。 ・「ティーンズ読書クラブ」が子ども達の自発的な行動であったことはすばらしいと思う。 ・市民に出番を与え、輪を広げた事が小中学生に良いお手本となったのだと思う。
		2 レファレンス室資料の充実	レファレンス室の資料を充実し、市民の学習活動を支援します	レファレンス資料の充実を図り、学習活動を支援いたします	記述	医療関係の辞書類、絵本や歴史関連の事典を中心にレファレンス資料の補強を行いました。		
		3 開かれた図書館	市民の交流の場・発表の場として開かれた図書館づくりを行います	市民講師による講座や、市民団体の発表の場を提供いたします	記述	市民講師による「古文書を学ぶ会」、市民団体による「読書会」を継続した他、新規で市民講師による「コースター工作会」、小中学生を対象とした「ティーンズ読書クラブ」を実施致しました。		
取組実績		これまでの継続活動の他、新たに新規でいくつかの活動の立ち上げを支援することができました。						
2 市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの実現								
		1 ボランティアの養成と支援	図書館ボランティアの養成と支援を行います	ボランティア養成講座を継続して実施いたします	記述	2. 3月に読み聞かせボランティア養成講座を実施しました。親子で参加可能とするなど、少し敷居を低くすることを意識したところ、例年より多くの参加がありました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすいように考慮して、多くの人が参加できるように。 ・受講者が実践につながるような内容をお願いしたい。
		2 市民協働事業	市民との協働による図書館事業の充実を図ります	おすすめ図書ガイド作成や、図書館まつりを協働で行います	記述	図書館まつりやリサイクル市など、多くのイベントでボランティアの方にご協力をいただきました。また、図書館サポーターを改めて募集したところ、6名の新規お申し込みがありました。		
取組実績		敷居を低くすることで、ボランティアを始めるきっかけづくりに貢献できたこと、図書館に興味のある市民の掘り起こしに成功したことが大きな収穫です。						
3 利用者への接遇の向上								
		1 職員の接遇と人材育成	図書館業務マニュアルによる接遇研修の充実と人材育成を図ります	接遇研修に参加し、人材育成を図ります	記述	県立図書館での基礎研修の他、新任図書館長研修、レファレンス研修、児童サービス研修に参加致しました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上を望む。 ・研修は継続してほしい。 ・丁寧な対応だった。
取組実績		研修内容は報告書回覧、あるいは報告会でスタッフ全員で共有、個々のスキルアップにつなげられるように努めました。						

総 評 (国分寺図書館)

【所見等】

- ・ティーンズ読書クラブ、とても素晴らしいことなので、長く続くように協力をお願いしたい。
- ・職員の努力が感じられる。
- ・運営状況はベターであるが、二階が図書館の中心である以上バリアフリーを考慮し、エレベーターの設置が必要である。
- ・各種イベントや講座の多様性はさすがだが、もっとPRを(特に文学講座等)石橋図書館のように新聞等に載せては。
- ・多方面に努力していることが感じられる。今後も市民、子どもの文化向上のために期待している。
- ・おおむね適正に運営されている。
- ・エレベーターの件やスペース面での物理的な不自由さはあるが、職員の方々の対応も穏やかで良い感じだと思う。
- ・国分寺図書館の規律をベースにした親しみやすさ、展示のメリハリ、行事の多様さはすばらしくファンは多いと思う。
- ・今後イベントと蔵書をよりリンクさせる方向を期待する。具体的には申込み用紙、イベントの資料や会場内で参考図書を紹介するなど(例: 琴の会では所蔵の琴のCDを紹介)直接貸出につながらなくても「知識の提供の場」という紐付けが図れると感じる。
- ・利用者の中には、ほかの図書館よりも本好きでそれを仲間と共有したいニーズが潜在しているのではないかと。組織として読書会を立ち上げることをためらう人に対し、図書館主流の単発イベントとして「読書会のようなもの」を主催していただければ喜ぶ人はいるのかもしれない。または広報で詳しく所蔵した書籍を3館合同で紹介しているが、市民から「最近図書館で読んで面白かった本」を募り、半分をそちらで特集しても良いのかも知れない(より市民参加)
- ・今まで実施したアンケートの中で展示やイベントを募集しても良いのではないかと。利用者の成熟にもつながる。
- ・オルゴールのBGMはやさしい感じだった。
- ・一階の児童書コーナーは子どもの目線で、幼児から小学生まで本に親しみを持つように工夫されていた。
- ・紙芝居も探しやすくレイアウトされていた。
- ・科学に興味を持つようなアシモのダンボール工作や「歯」のお薦め絵本や国別に本を分けて認識を変える方法をとられたり、二階は自治医大情報コーナー、認知症関係の本、福島の今の状況や下野市のPRや大河ドラマ特設コーナーなど図書館で情報をもらったり学んだりできる満足できる図書館だった。
- ・使いやすい駐車場やトイレの洋式化、照明が一部暗いところがあるが設備投資は難しいのか。

(三館共通)

- ・子どもに関する本はニーズに合った蔵書を。3館のバランスが取れるように。
- ・「B」が目標水準を満たしているとのことなので、3館ともBが多くなっている。
- ・図書館に足を運ばない人々にも、図書館のメリットが分かるように広報活動に力を注ぐよう希望する。

平成29年度事業評価シート(様式1)

南河内図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
I 知識と情報の拠点としての図書館								
1 市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実								
1 資料の収集と保存		ア)市立図書館資料のバランスを考慮した、市民に役立つ資料の充実を図ります	南河内図書館の特色である児童書の収集に力を入れます。	記述	学校の団体貸出で要望のあった図書(ジャンル)や優良図書のほか既に所蔵している資料の中でも状態の悪い資料は買い替えをしました。	B	<ul style="list-style-type: none"> データベース化が有効なものについては、今後も検討していただき、対応を願う。 市民のニーズにあった特設コーナーは今後も継続をお願いしたい。 削減される資料購入費の中での収集は大変だと思うが努力されている。評価する。 優良図書、話題書、受賞作品の収集は利用者にとってもありがたい。 多くの図書の中で状態の悪い資料を選ぶことに努め買い換えた努力を評価。 特に学校等で多く使用する資料は良い状態であってほしい。 本や図書館に親しみ良き利用者となるであろう子ども達への、より充実した資料を持つ図書館になるようお願いしたい。 絶版の資料については状態の悪いものでも書庫などで保管していただきたい。 下野新聞の現物保存は正に歴史上の貴重な資料となる。経費、保管場所等困難なことが多々あると思うが、ぜひ現物で保存していただくことを切に願う。またとない郷土資料だ。 以前に比べ収集本が多く、図書館に足を運んでみようと感じられる内容になっている。 市民のニーズに応じた各賞の作家の本がそろえてあった。 	
		イ)参考資料を含む幅広い資料収集と、長期にわたる資料保存を行います	下野新聞の現物保存を継続します。またレファレンスに対応可能な資料の収集に努めます。	記述	下野新聞の現物保存は昨年12月まで継続しました。基幹職員と市内3館で協議をし、今後はデータベースで対応することになりました。参考資料は所蔵の少ない外国語の辞典等も含め41冊受入れをしました。			
2 市民ニーズを把握した図書の収集		市民の要望にかなう図書を収集するための市民ニーズの把握を行います	アンケートやリクエストの内容を精査し、幅広い資料の収集に努めます。	記述	優良図書の収集のほか、芥川賞・直木賞・絵本屋さん大賞など各種受賞作品を幅広く収集し、特設展示コーナーを設けました。			
取組実績		下野新聞の現物保存は生涯学習文化課と協議をし昨年12月まで行い、今後はデータベースで対応することになりました。優良図書の収集のほか、芥川賞・直木賞・絵本屋さん大賞など各種受賞作品を幅広く収集し、ブックアップコーナー等特設展示コーナーを設けました。						
3 サービスの提供の向上								
1 インターネットによる調べ物の支援		利用者用パソコンを活用した、インターネットによる調べ物の支援を推進します	館内での利用者用パソコン活用の周知をし、レファレンスサービスに努めます。	記述	利用者用パソコンの利用数は昨年度177件、今年度は107件でした。パソコン操作に不慣れな方へは操作説明をしました。	B	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた図書館という点で評価できる。今後も周知をお願いしたい。 パソコン利用が多い中パソコン操作の出来ない人に対しての操作説明はベター。利用者増につながる。 パソコン利用について必要なかたには説明もいたします等のポップなどでPRしても良いのではないかと。 データベース化も良いが、現物で見ると実感があがる。 「こだま」のCDの活用を住民に周知されたし。 	
2 より容易で効率的な資料・情報の提供		デジタル図書やパソコンの活用など新しい技術・機器等を取り入れ、容易で効果的に資料・情報を利用できるようにします	市広報誌や議会だより等のデジタル版CDの周知を図ります。また、デジタル機器の導入を基幹の職員に提案してまいります。	記述	音訳ボランティア「こだま」の活動の周知のほか、市広報誌等のデジタル版CDの所蔵をポスターで掲示し、案内しました。また、基幹職員と市内3館で協議をし、下野新聞のデータベース導入の提案をしました。			
取組実績		パソコン操作に不慣れな方へは操作説明をし、課題解決の手助けをしました。また、音訳ボランティア「こだま」の活動の周知や、市広報誌等のデジタル版CDの所蔵をポスターで掲示し、案内しました。						

南河内図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
II 子どもの読書活動を推進する図書館								
1 学校との連携による子ども読書活動の充実								
	1	学校図書館支援	学校図書館支援のために、定期的な訪問を行います	事業の案内を通して訪問や情報交換をし、連携をはかります。	記述	近隣の小中学校へ児童対象の事業のポスターの掲示依頼をしました。また、図書室 や学校図書支援員へ要望のあった資料や季節の本を提供しました。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせは、子どもたちにとって楽しみの一つである。是非継続してほしい。 ・朝の多忙時間帯ですが、頑張って継続を望む。 ・団体貸出システムは、子ども達がより多くの本に触れられ、大変ありがたい。 ・学校との太いパイプがある活動と思う。今後はさらに子ども達が図書館に来てくれるような働きもより充実してほしい。 ・掲示など充実しているように思われる。 ・朝の読み聞かせの時間を15分程予定してもらえれば内容が充実すると感じるが。
	2	小学校への読書普及活動の充実	ア)小学校への団体貸出により、身近に本のある環境を作ります	地域内の小学校を対象に、各クラスの要望に応じた図書を、1クラス50冊を上限に1か月の貸出を実施します。	記述	南河内地区内の全小学校・全クラスに1回50冊を上限に1か月の貸出を実施しました。学校(担任)からの要望を取り入れ、授業に役立つ資料や児童に人気のある本など幅広く提供しました。		
			イ)図書館ボランティアによる小学校での読み聞かせなど、読書普及活動の充実を図ります	ボランティアによる朝の読み聞かせを継続して実施します。	記述	らこにてによる朝の読み聞かせ ・祇園小・・・1～3年生(月2回) ・薬師寺小、吉田東小・・・全学年(月1回) ・吉田西小・・・全学年(月2回) ・吉田東小フェスティバル(11/3) あめんぼうによるパネルシアター出張公演 ・吉田西小(10/11) ・細谷小(11/16)		
取組実績			児童向けの事業の際は近隣の小中学校へもポスターの掲示依頼をしました。「手作り絵本教室」では、南河内中学校の美術部に声をかけたところ、13名の参加がありました。					
2 家庭での読書活動の支援								
	1	親子で読書を楽しむきっかけづくり	おはなし会の開催など、親子で読書を楽しむきっかけづくりを行います	おはなし会やお楽しみ会、工作会など、親子で参加する事業を開催し、読書をする楽しさを広げます。	記述	毎月2回(第2・第4土曜日)のおはなし会のほか、夏と冬にお楽しみパネルシアターを実施しました。また、スタッフによる季節ごとの工作会の際には行事に関連した本の読み聞かせを実施しました。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な角度からの実施、工夫をすることで参加者も増加し、すばらしいと思う。 ・ニーズに合った企画は図書館利用者も楽しみにしていると思うと同時に利用者増に。 ・子育て中の保護者向けの企画を利用して、幅広い講座を望む。 ・読書に親しみきっかけ作りの工夫がみられる。 ・本とのかかわりに発し、それ以上に「子どもと親の生活を応援」している活動、今後も続け発展させてほしい。 ・啓発活動を続けていくことにより、家読が定着すると信じたい。 ・目につくようにポスターの掲示がされていた。
	2	子ども読書活動を促進する保護者対象事業	保護者を対象に子どもの読書活動を推進する講演会等を実施します	「赤ちゃんといっしょ」などの保護者向け事業を開催し、読み聞かせの実演やおすすめ本の紹介をします。	記述	0～2歳児とその保護者を対象とした「赤ちゃんといっしょ」では、幼児向け絵本や育児書の紹介・読み聞かせのほか石橋消防署の隊員を講師に招き、親子防災教室を実施しました。関連本の展示もあわせてし、多くの参加がありました。		
	3	図書館情報の周知	家庭での読書活動を支援するため、保育園等を通じた図書館情報の周知を図ります	南河内地区内の各保育園・幼稚園に、児童向けの催し物の周知を図ります。	記述	児童を対象としたイベントの際には、近隣の保育園や幼稚園、児童館、公民館等にポスター掲示の依頼をし、周知を図りました。		
取組実績			0～2歳児とその保護者を対象とした「赤ちゃんといっしょ」では、石橋消防署の隊員を初めて講師に招き、乳幼児の心配蘇生法や消防車の見学を実施したところあいにくの天気でしたが、多くの参加がありました。					
3 子どもの読書活動推進のための読書環境等の充実								
	1	児童書の充実	『子どもの読書活動推進計画』に基づき、資料の充実を図ります	課題図書や優良図書の受け入れをします。その他、リクエストを受け、利用者のニーズに沿った図書を選書します。	記述	団体貸出で利用の多いジャンルの資料や調べ学習に参考になる本、課題図書・厚労省推薦図書のほか、レファレンスで要望の多かったプログラミングに関する本を受け入れ、提供しました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の参加だったが興味を持っている子どもにとっては、とても必要なことだと思う。ぜひ継続を。 ・資料や調べ学習に参考となる本の充実を。 ・図書館司書を体験してそれで終わらず、図書館に対する理解を深めるような指導を。 ・要望を聞いて図書を購入してはほしい。 ・子どもへの活動に熱心な家庭が多く、図書館とも良い関係があると見受けられる。市全体にそういった関係が広がっていくよう考えていただけたら良いと思う。 ・長期休暇を利用して、子供向けの講座を実施してほしい。 ・赤と青の色別のコーナーが素敵だった。科学の本もそろっていた。曲線のレイアウトが良かった。
	2	小中学生向けの講座や読書案内の充実	ア)小・中学生の司書体験を通して、図書館への関心を深めていきます	3館合同事業の「子ども司書体験講座」を継続して開催し、図書館への理解と関心を深めます。	記述	3館で協力し子ども司書体験講座を6月～8月にかけて3回行いました。南河内図書館の参加は2名でした。おはなしボランティアあめんぼうのみなさんに協力していただき、読み聞かせ体験をしました。		
			イ)子ども向けの講座や読書案内等の充実を図ります	おすすめ図書ガイドの作成と配布を実施します。また、子ども向けの各講座の充実を図ります。	記述	基幹職員を中心に市内で活動する読み聞かせボランティアと協力しておすすめ図書ガイドを作成し、各学校を通して対象の生徒へ配布しました。		
	3	児童書の貸出冊数、市内小学校への団体貸出冊数	全館 平成26年度 → 平成32年度 児童書... 142,283冊 → 150,000冊 団体... 23,790冊 → 30,000冊	各館 平成28年度 → 平成29年度 児童書... 62,834冊 → 63,000冊 団体... 23,528冊 → 23,600冊	数値	平成29年度 児童書...52,919冊 団体...18,093冊		
取組実績			学校からの要望や調べ学習に参考になる本、課題図書・厚労省推薦図書のほか、レファレンスで要望の多かったプログラミングに関する本を受け入れ、提供しました。					

南河内図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
Ⅲ 利用しやすく役立つ図書館								
1 柔軟な運営体制の構築								
		1 図書館評価	図書館評価による運営のさらなる改善を図ります	外部評価を基に、更なる改善を図ります。	記述	2階にある資料を整理し、郷土の参考資料を一カ所にまとめたほか蔵書の整理をし、2類全てと1類の一部を1階におろしました。一般書架のレイアウト変更をし、避難経路の確保と利用者の導線にあわせた配置にしました。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者側に立ったレイアウトはとても有効であったと思う。まずは利用者の視線で。 ・利用者の利便性を望む。 ・スポンサー制度については通年募集実施を希望。 ・より利用者側にたった工夫がみられる。 ・スポンサー制度のPRを、図書館HPなどでも行ってはいいか。 ・利用しやすい資料の配架は良い決断と思う。 ・見やすくなった。
		2 民間企業の図書館活動への参加	雑誌スポンサー制度など、民間企業の図書館活動への参加を促進します	雑誌スポンサー制度のPRをし、広く周知を図ります。	記述	館内にポスター掲示をし、周知しております。雑誌スポンサー制度の募集を引き続きまいります。		
取組実績			利用の高い郷土の参考資料を1階にまとめたほか、2類全てと1類の一部を1階におろしました。また、避難経路の確保と利用者の導線にあわせた配置を行いました。					
2 利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実								
		1 レファレンスサービス	ア)市と他の行政機関との連携によるレファレンスサービス等、適切な資料提供を行います イ)蔵書の充実と、インターネットを活用したレファレンスサービス網の構築を図ります	市内各施設の情報を迅速に提供できるよう努めます。パンフレット等の資料提供を行います。 レファレンスの事例を記録し、サービスの充実に役立てます。	記述	「下野市暮らしの便利帳」や「しもつけしてる?」「歴史とロマンのかんびよう街道」「かんびよう簡単レシピ」等を基幹職員に依頼し、収集しております。 クイックレファレンスはノートに記載し、記録をしてスタッフ全員で共有しています。選書の際にも活用しています。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスの件数増は良い結果である。 ・利用者増は評価する。 ・リクエストのあった本がなるべく早く手に入るような努力を。 ・利用者のリクエストに応えるための相互賃借がすばらしい。 ・図書館司書ならではのレファレンスサービスをもっとPRする工夫が必要なのではないか。このサービスを知らないかたは、かなりの数いらっしゃるのではないかと思う。 ・レファレンスは図書館の重要な情報である。より充実することを願う。 ・窓から山並みがみえて癒される場だと思う。
		2 レファレンス受付件数	全館 平成26年度 - 平成32年度 5,929件 - 6,600件	各館 平成28年度 - 平成29年度 2,042件 - 2,100件	数値	平成29年度のレファレンス受付件数 1,395件(達成率66%)		
		3 相互賃借	県内図書館との相互賃借により、リクエストに応えます	リクエストに応えるために、県内図書館との相互賃借を活用します。	数値	昨年度の相互賃借件数は380点、今年度は449点で118%増です。		
取組実績			「下野市暮らしの便利帳」や「しもつけしてる?」「歴史とロマンのかんびよう街道」「かんびよう簡単レシピ」等を基幹職員に依頼し、レファレンスサービスに対応できるよう収集いたしました。					
3 利用者の要望に応じたサービスの充実								
		1 図書館サービスの充実	本と気軽に親しめる図書館サービスの充実を図ります	季節にあった催しを開催し、関連する本を展示することで、気軽に利用できる雰囲気づくりをします。	記述	事業の開催時期に合わせて関連する資料の企画展示をすることで、事業の告知にも繋げることが出来ました。新着資料はツイッターでも受け入れ案内をし、多くの方に所蔵の周知をしております。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル市は、とても良いことなので、今後も続けて欲しい。 ・今後も各学校へ周知していただき、資料の提供をお願いしたい。 ・事業開催に合わせて資料の企画展示案内は、多くのかたが所蔵の周知と参加することにより利用者増につながる。 ・リサイクル本の活用は、年々好評。
		2 所蔵資料の活用	おすすめ本の展示コーナーなど所蔵資料の活用を行います	季節や時事に応じた資料の紹介、2階の資料の継続的な展示をし、所蔵資料の活用を努めます。	記述	企画展示には閉架資料や視聴覚資料を加えジャンル豊富に提供しております。		
		3 リサイクル	リサイクルフェアを開催し、図書館資料の有効活用を図ります	除籍資料や寄贈図書、雑誌を対象としたリサイクル市を実施し、市民に提供します。	記述	11月にリサイクル市を実施しました。市内の学校や各施設に事前提供をし、6校の参加があり81冊の資料を提供しました。		
取組実績			自主事業に関連する資料の展示をすることで、事業の告知にも繋げることが出来ました。11月からはじめたツイッターでも新着図書の受け入れ案内をし、多くの方に所蔵やリサイクル市の周知をしております。					

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価
Ⅲ	4	誰もが利用しやすい図書館サービスの提供					
		1 乳幼児・児童サービス	乳幼児・児童サービスを充実します	「赤ちゃんといっしょ」「ぬいぐるみのお泊り会」などを実施します。	記述	「赤ちゃんといっしょ」では、講座の際にスタッフによる読み聞かせを実施したり、1階の児童書架側に子育てコーナーを新設し育児書を充実させ講座の際に紹介しました。	B ・高齢者サービスについては、今後もさらに必要なことである。ぜひ他の福祉施設へも広めていただきたい。 ・小さい頃の読書習慣が大切、多くの親子が参加できるように。 ・乳幼児、高齢者、障がい者、外国人、市民と広範囲に意図的に取り組んでいることが良く分かる。 ・利用者のニーズに合ったサービスを。 ・利用者のそれぞれの立場での悩み解消に努めているサービスを評価。 ・図書館は全ての人が便利で利用しやすいように多くの資料を収集してほしい。そのためには、ぜひ、資料購入費の増加を要望してほしい。 ・ニーズがなければ点字絵本、視聴覚障がい者対応のDVDの購入は、今後、必要ないとする。(再度、リクエストがあったときに単発購入)
		2 高齢者サービス	高齢者サービスを充実します	グループホーム等の高齢者施設への団体貸出や、ボランティアによる読み聞かせ等を行います。	記述	近隣の高齢者福祉施設の職員の方が定期的に利用に来られています。「グループホームあすか」では、毎月2回ボランティアによる読み語り、琴の演奏や歌などを実施して、施設利用者の方楽しんでいただいております。	
		3 障がい者サービス	障がいを持っている方へのサービスを充実します	市広報誌や議会だより等の音訳CDの貸出と、点字絵本、朗読CDの充実を図ります。	記述	点字絵本を4点購入しております。視聴覚障害者対応のDVDを3点購入しました。	
		4 外国人へのサービス	外国人の方へのサービスを充実します	外国語の利用案内を作成するとともに洋書の充実を図ります。	記述	英語の利用案内を作成し、館内に掲示しました。今年度は洋書を16冊購入しました。書庫に所蔵していた洋書も開架し、コーナー化しました。	
		5 市民サービス	市民の要望に応じた幅広いサービスを充実します	アンケートを実施し、利用者のニーズを把握し、サービスの充実を図ります。	記述	10月に利用者アンケートを実施しました。回収率は90%でした。	
		取組実績	「1階の児童書架側に子育てコーナーを新設し児童書(絵本)と育児書を近くに配置することで小さなお子様連れの利用者が動きやすい動線を確保しました。				

南河内図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	
							単年度目標評価	外部評価 (図書館協会のコメント)
IV 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館								
1 地域情報の収集、保存、提供								
		1 地域資料・行政資料	ア)市広報誌など地域情報の収集、保存、提供をします	市の広報誌や議会だよりの収集、保存、提供をします。	記述	市の広報や議会だより、社協だよりを製本・保存し、情報提供の依頼に長期間応えられるようにしております。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の資料があるのは便利。 ・市の行政について図書館で幅広く情報収集できることはありがたい。 ・さらに図書館が地域の拠点となるよう地域活性の資料を示すのも良い。 ・行政資料は行政の職員と協力しながら収集することを希望する。
			イ)市議会の議事録や市の予算書・決算書など行政資料を保存します	市の予算書・決算書などの行政資料の収集、保存、提供に努めます。	記述	市議会の議事録、市の予算書・決算書を収集し、閲覧できるようにしております。		
取組実績			市の広報や議会だより、社協だよりを製本、また、市議会の議事録、市の予算書・決算書を収集し、閲覧できるようにしております。					
2 郷土資料の積極的な収集、保存、提供								
		1 郷土資料	郷土資料の収集・提供を図り、地域学習活動の支援をします	郷土コーナーを設け、栃木県に関する郷土資料の収集、提供をします。	記述	一般書架側に郷土コーナーを新設し、栃木県や下野市に関する資料を一箇所にまとめました。また、地域のパンフレットやリーフレットを置いて、コーナーを充実化させました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・その地域ならではの資料の収集は大切なことである。 ・県、郷土資料を一カ所に新設したのは利用者にとっても便利である。 ・学校でも「ふるさと学習」が重点となっているので、子ども向け資料も置いてほしい。 ・郷土資料の収集、充実を望む。
		2 地域ゆかりの関係資料	地域刊行資料、地域ゆかりの関係資料を積極的に収集し、保存・提供します	基幹職員を通して行政各課や市内各施設で作成した地域刊行資料等の積極的な収集と保存に努めます。	記述	基幹職員と連携をし、地域刊行資料等の受け入れをし、利用者へ提供しました。		
取組実績			1階に郷土コーナーを新設することで、栃木県や下野市に関する資料を一箇所にまとめました。また、資料と地域のパンフレットやリーフレットと一緒に置き、利用者へ提供しました。					

南河内図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 29年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
V 市民とともにある図書館								
1 生涯学習の機会や交流の場の提供								
		1 図書館ボランティア	図書館ボランティアに関する交流会や講座を開催します	読み聞かせや音訳ボランティア講座を開催します。	記述	読み聞かせや音訳ボランティア講座の実施のほか、2月17日にボランティア交流会を実施し、各ボランティアの活動の把握と体験会をしました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が親しみを持って参加できる企画はとても良いと思う。 ・市民の学習活動支援のため、資料を一箇所にまとめたことはとても便利。 ・「赤ちゃんといっしょ」講座のみならず在住者の講師を望む。 ・ボランティア交流会の有意義な方法を考慮してほしい。
		2 レファレンス室資料の充実	レファレンス室の資料を充実し、市民の学習活動を支援します	参考資料の充実を図り、市民の学習活動の支援をします。	記述	今年度は参考資料を19冊受け入れました。2階レファレンス室内の蔵書の整理をし、郷土の参考資料を一箇所にまとめました。		
		3 開かれた図書館	市民の交流の場・発表の場として開かれた図書館づくりを行います	市民を講師に迎えた講座の開催や市民団体の発表の場の提供をします。	記述	「赤ちゃんといっしょ」では市内在住者を講師に招いた講座の実施をし、参加者は親しみを持って楽しんで参加されておりました。		
		取組実績		「赤ちゃんといっしょ」では市民在住者を講師に招き活動の場を提供しております。				
2 市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの実現								
		1 ボランティアの養成と支援	図書館ボランティアの養成と支援を行います	音訳ボランティア講座の開催と、読み聞かせボランティアの勉強会の支援を行います。	記述	音訳ボランティア体験講座を6/9.16.23.30に実施し、こだまのメンバーを中心に13名の参加がありました。読み聞かせボランティア体験講座は9/15と29に実施し、らくんてのメンバーを中心に28名の参加がありました。新たなボランティアの育成と研鑽ができました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成は必要不可欠なこと。また、新たなボランティアのかたの開拓も。 ・市内在住者の講師は親しみがあり、参加者増にもつながると思う。 ・講座により新たなボランティアに参加してくださる方が生まれたことはとても素晴らしい。スキルアップも含め、良い研修の機会をこれからもお願いしたい。 ・ボランティアのメンバーが増加することは良いことだ。
		2 市民協働事業	市民との協働による図書館事業の充実を図ります	市民や市民団体と協力した事業の開催を実施します。	記述	市内在住者を講師に子どもの切り紙はり絵教室(8/19・15名+大人4名)、大人の切り紙はり絵講座(11/17・11名)、クリスマスカード作り教室(12/2・子ども8名+大人7名)を開催しました。「赤ちゃんといっしょ」でも市内在住者を講師に招いて講座を実施しました。		
		取組実績		市内在住者を講師に子どもの切り紙はり絵教室や大人の切り紙はり絵講座などの講座を実施しました。				
3 利用者への接遇の向上								
		1 職員の接遇と人材育成	図書館業務マニュアルによる接遇研修の充実と人材育成を図ります	各種研修に参加し、スキルアップを図ります。	記述	県立図書館や宇都宮市立図書館でおこなわれる研修に参加しました。また、TRCが行う研修にも積極的に参加しました。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座に参加してスタッフの一層のスキル向上を望む。利用者へのサービスを。 ・研修は継続してほしい。
		取組実績		県立図書館や宇都宮市立図書館でおこなわれる研修に参加しました。また、TRCが行う研修にも積極的に参加し、スタッフのスキル向上につとめました。				

総 評（南河内図書館）

【所見等】

- ・立地的にも良い場所で駐車スペースも広く、様々なイベントを実施できる環境である。さらに市民の交流の場として、運営を進めていっていただきたい。
- ・南河内図書館はボランティアの形体が、他の2館と少し違っているので図書館とボランティアの関係が密になっている。職員の方々も良く理解していただき、今まで通りの活動が維持できていて感謝しているが、今度、ボランティア室が無くなってしまった。とても残念だ。狭い映写室へ移動となった。何かと不自由なことがあると思うので職員の方々に頼ることが多々あると思われる。
- ・職員の方々の対応がとても良く努力も感じる。本当に良く頑張っている。
- ・南河内図書館は、とても明るい雰囲気を利用しやすい。
- ・職員の意識が高く頑張っている姿がうかがえます。これまで通り、頑張ってください。
- ・おおむね適正に運営されている。
- ・良い意味での落ち着き、明るさ、匂を感じられ、劇的に良い方向に変化している。その上で、今後の伸びしろも一番大きな図書館だと感じる。「南河内図書館は良くなった」と感じている人々に今後の使用を定着させることができるかがカギだと感じる。
- ・クラシックのBGMは、落ち着く。
- ・児童書が豊富で、子ども達が喜ぶと思う。
- ・市民のニーズに応じたお薦めの本の配置がとても良かった(将棋、相撲、料理など)
- ・昔話研究者の本が揃っていてうれしくなった。但し、背表紙が見えづらくなっていたのが残念だ。
- ・住宅街の静かな図書館というのが第一印象だったが、中に入ると近くでスポーツをされている人達の楽しそうな声が聞こえたり、学校もそばにあたりして市民にはなくてはならない図書館だと思った。

（三館共通）

- ・三館共通の事業ができ、とても良い。
- ・三館が指定管理に移行し、各々の館、各々なりに努力している様子がうかがえる。

報告(基幹的業務・3館合同の取組)

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度の取組結果
I 知識と情報の拠点としての図書館				
1 市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実				
		【成果指標】 人口一人当たりの蔵書冊数・貸出冊数	平成26年度 → 平成32年度 蔵書冊数... 5.2冊 → 5.5冊 貸出冊数... 6.2冊 → 7冊	平成29年度目標 蔵書冊数... 5.4冊 貸出冊数... 6.6冊 平成28年度 (人口60,062人※3月末) 蔵書冊数... 5.3冊 貸出冊数... 6.1冊 平成29年度 (人口60,084人※3月末) 蔵書冊数... 5.2冊 貸出冊数... 5.7冊
2 ICT等の活用による情報提供の充実				
		ホームページの活用	ホームページを活用した、図書館の利用案内、行事などの情報発信をします	平成30年1月のシステム更新に伴い、ホームページのリニューアルを行いました。絵本に登場するキャラクター等が、動画で楽しくおすすめの本を紹介する「ほんナビきっず」により、楽しみながらおすすめの本を探すことができるようになりました。また、ツイッターによる情報発信を開始しました。
		インターネットを使った予約サービスの充実	ア) インターネットを使った資料の予約を行い、利便性を確保し資料の回転率の向上を図ります イ) パスワード登録によるインターネットからの資料予約、貸出・予約情報照会等の周知を図ります	システムを更新してから、インターネット予約件数が増加しました。 平成28年度... 5,464件 平成29年度... 6,648件 (122%) パスワード登録により、本・紙芝居・雑誌をホームページから1回延長することができるようになりました。ポスター、チラシの掲示や新規登録時にインターネット予約等の案内を行い、周知を図りました。
3 サービスの提供の向上				
		より容易で効率的な資料・情報の提供	デジタイズ図書やパソコンの活用など新しい技術・機器等を取り入れ、容易で効果的に資料・情報を利用できるようにします	指定管理者からの新聞のデータベースに関する提案を、管理運営責任者会議等で何度も検討しました。その結果、下野新聞データベースplus日経テレコンを平成30年度より、導入することとなりました。
		市政情報の録音版の普及	音訳ボランティアの協力により市政情報の録音版を作成し、誰でも利用できる環境づくりの継続	広報、社協だより、議会だよりの他、行政カレンダー等の市政情報誌を音に訳して、CDを作成・配布しました。
II 子どもの読書活動を推進する図書館				
1. 学校との連携による子ども読書活動の充実				
		学校図書館支援	学校図書館担当職員等と連携し、子どもの読書推進のための研修会や意見交換会の充実を図ります 図書館システムのネットワーク化を検討し、学校図書館のレファレンスサービス網の構築を図ります	6月22日(木)に「学校図書室・市立図書館意見交換会」を開催し、市内小中学校の司書教諭(支援員)と、学校図書館を活性化させるための取り組み事例について、意見・情報交換をしました。12月12日(火)に研修会(講話「学校図書館について」/講師:元南河内図書館長 青木ムツミ氏)を開催しました。 図書館システムのネットワーク化については、引き続き検討していきます。電話やメール、ファックスで学校からのレファレンスを受け、団体貸出での資料提供を行いました。
III 利用しやすく役立つ図書館				
1 柔軟な運営体制の構築				
		行政と指定管理者	行政主導の基幹的業務となる経営部門と、指定管理者制度の活用による柔軟なサービス体制の充実を図ります	行政主導による館長会議と主任会議を毎月開催し、年間事業計画の調整や、総合的な蔵書管理、情報交換等を行っています。11月からは主任会議のメンバーとシステム管理業者による、図書館システムについての事前打合せを6回行い、ホームページ作成に意見を反映させました。
2 利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実				
		レファレンスサービス	蔵書の充実と、インターネットを活用したレファレンスサービス網の構築を図ります	3館の特色を踏まえたファレンス室の資料(参考資料)の充実を図りました。石橋図書館:「六法全書」、国分寺図書館:「図解看護・医学事典」、南河内図書館「世界の児童文学登場人物索引 単行本篇」等。インターネットを活用したレファレンスサービス網については、引き続き情報を収集し検討してまいります。
3 利用者の要望に応じたサービスの充実				
		おすすめ図書ガイド	18歳までの年代別おすすめ図書ガイドを作成し、発行します	毎年、読み聞かせボランティアの協力のもと作成しています。本年度はヤングアダルト向けガイドを作成し、中学校を通して生徒に配布しました。また、石橋高校と上三川高校にも配布しました。
IV 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館				
2 歴史館・資料館等と連携した講座の実施				
		歴史館・資料館等との連携	歴史館・資料館等と連携した各種講座を実施します	「下野学歴史講座～下谷田遺跡について(石橋館)」「古文書講座～江戸時代、小金井宿の古文書を読み解く(国分寺館)」「県政出前講座～とちぎの百様(南河内館)」等を開催し、郷土の歴史や文化を学ぶ機会を設けました。
3 郷土資料の積極的な収集、保存、提供				
		【成果指標】 郷土資料の所蔵数	平成26年度 → 平成32年度 6,448冊 → 7,000冊	平成29年度目標 7,000冊 平成28年度 → 平成29年度 6,899冊 → 7,871冊
V 市民とともにある図書館				
1 生涯学習の機会や交流の場の提供				
		【成果指標】 講座・講演会等参加者数	平成26年度 → 平成32年度 5,220人 → 6,000人	平成29年度目標 6,700人 平成28年度 → 平成29年度 6,418人 → 6,511人

2 市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの充実			
【成果指標】 図書館ボランティア 活動人数	平成26年度 → 平成32年度 122人 → 150人	平成29年度目標 136人	平成28年度 → 平成29年度 123人 → 106人
3 公民館との連携による利用者促進と生涯学習活動の充実			
公民館との連携	公民館と相互協力し、図書館ボランティアとの協働による各種講座を開催します	石橋・国分寺：公民館へ図書館講座のチラシを配布、南河内：図書館講座のポスターを配布する等、周知を図りました。	
	公民館における図書の貸出・返却の研究をします	8/8・9の公共機関向けリサイクル市の資料リストを事前配布し、石橋公民館へ72点提供し、資料の有効活用を図った。南河内図書館が南河内地区公民館へ、リサイクル市の案内を行いました。	

